

大会宣言

安倍政権の腐敗が極まる中、私たちは第17回定期大会を開催した。

全国ユニオンに結集する私たちは、この1年間、多くの闘いで勝利し、職場や地域での取り組みを広げてきた。ユニオンみえの鈴鹿さくら病院の闘いは、歴史的最高裁判決と中労委勝利和解を経て、労働組合の命であるストライキ権を防衛した。東京管理職ユニオンのスガノ農機の闘いは、スト権を確立し、職場占拠でもって150名の職場を守り抜いた。アストラゼネカ闘争は、ユニオン運動の画期をなす大企業組織化の道を切り拓いた。いたみワーカーズコープは、地域になくはない仕事起こしを更に展開し、全国のモデルケースとして厚労省から位置づけられるまでの段階に到達した。

また、安倍政権による労働法制改悪に対抗する様々な運動を展開する中で、私たちは、全国各地の労働運動、社会運動、市民との幅広い連帯を深め、コミュニティに根差した社会的労働運動を拓げてきた。さらに私たちは、全国ユニオン結成以来のテーマであるディーセントワークと均等待遇の実現に向け、連合運動の中で積極的な活動を展開してきた。不安定な立場を強いられる労働者自らが主人公となる運動にこだわり、政策の実現を強く求めてきた。そして、私たちは、アメリカのレーバーノーツの取り組みやEU諸国の新しい労働運動やキャンドル革命を実現した韓国民衆の闘いと連帯を拓げる中で、世界を覆い尽くそうとする「格差貧困と差別分断と戦争の社会」に取って代わる新しい社会への礎を築くことができると確信している。

私たちは、これらの実践と本大会での決議を踏まえ、全国ユニオン運動を飛躍的に拓げてゆこう。全国の様々な運動体と連帯し、1万人の全国ユニオンを早期に確立しよう。これからの1年、社会的労働運動の旗手として安倍政権に代わる新しい社会構想を高らかに討議検討・発信してゆこう。次の時代に向けて変革の意志を熱く滾らせる活動家を育てるために、私たちがこれまでに築き上げてきたネットワークを駆使し、ユニオンスクールを構想し、立ち上げてゆこう。

私たち全国ユニオン運動は、働く者たちと市民の希望となり、新しい次の世界の扉を開く主人公となる。

以上、宣言する。

2018年7月21日
全国ユニオン 第17回定期大会